



大すきいっぱい土の子

～学びづくり、くらしづくり、仲間づくり～

令和4年7月19日
土井首小学校
文責：校長 江原芳樹
第7号

小説家、中 勘助（なかかんすけ）は、「梅雨がなかったらどんなにか私はものたらぬことであらう。それは春と夏とのあひだに特殊な風情のある季節をつくってゐる。」と書いています。例年になく早い梅雨が明けたかと思えば、戻り梅雨となりました。最近の雨には到底風情が感じられない状況ですが、間もなく夏の風が吹きます。

日本人は風の便りで季節を知り、風という言葉に様々な思いをたくしてきました。「風冴える」冬から、「風光る」春へ、「風薫る」青葉の頃から「風涼し」の夏へ、風が季節の演出者だと考えていたのでしょう。

南風ひとつとっても、春先に吹くのが春一番、そして花散らし。五月の南風は薫風、青嵐と呼ばれます。梅雨時は黒南風、荒南風と続き、梅雨明けの頃は白南風が吹きます。風の姿から、風に青・黒・荒・白と名付けた感覚は見事です。

教室にエアコンが設置されたり、熱中症対策で外での活動を自粛しなければならなかったりと、風を感じる余裕がなかった1学期末ですが、いよいよ夏休みが始まります。

どうか、子どもたちが思いっきり外で活動できる夏休みであってほしいと強く願います。

夏休みの暮らしを自分で考える

夏休みは、学校生活と異なり、自分で自分の生活を整えていかなければなりません。決まった時間に決められたことが準備されているわけではないからです。

そのため、次の3つのことを大切にしてほしいと考えています。

① 家族の一人として、役割のある生活を過ごしてほしい。

役割のためには「お手伝い」ではなく、「仕事」をもつことです。家族の一人として、子どもにも「任せる」何かをもたせてほしいと思います。「任せる」と、失敗や不十分からも次への学びが生まれます。

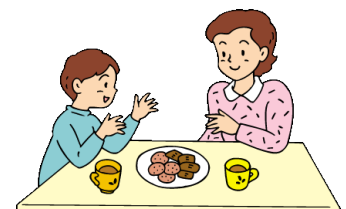
② 自分で必要な学習に取り組んでほしい。

学校では教科書を中心に学習をすすめますが、本質的な学習は、いつも生活の中にあります。紙面上の学習で終わることなく、学習が生活場面で「使える学び」となるためにも、夏休みは大切な期間です。「わかる」が、「できる」へと発展する夏休みを期待しています。

③ 時間をかけることの意味を知ってほしい。

時間をかけて取り組むことができるのが夏休みです。結果や成果を求めるのではなく、挑戦することに大きな価値があります。テーマをもって挑戦する夏休みを創ってほしいと思います。

学校から出される夏休みの課題をしっかりと終わらせることも大切ですが、「夏休みならではの」「夏休みだからできること」を自ら計画し、やってみることが何より価値のある取組となります。どうか、ご家庭でも夏休みの暮らし方を話題に語り合ってください。



タブレットを学習道具として使える日本人を

デジタル化が急速に進み、私たちの生活にはなくてはならないものとなりました。そうした環境から、子どもたちは、幼少期から情報機器に囲まれて育った「デジタルネイティブ世代」と呼ばれています。

しかし、日本の子どもたちはスマホやゲーム機の使用率は高いものの、パソコンの使用率は他の先進国と比較すると飛びぬけて低いとされています。

それは、日本ではPCをはじめとする情報機器をあまり学習で活用していないという背景があります。他国においては、PC等は圧倒的に学習のための道具として利用・活用されています。一方日本では、コミュニケーションツールやゲームなどの娯楽の道具としての頻度が高く、学習場面であまり活用されてきませんでした。



夏休み、一人一台端末（タブレット）の持ち帰りを行います。タブレットを活用した学習の課題も出されていますが、課題だけの活用にならないことを期待しています。自由研究の継続的な記録、旅行等のプレゼンテーション作成、テーマ設定した調べ活動の発信など、その活用は多様なものです。

また、タブレットの長い時間の使用については、子どもたちの視力低下の要因になると言われています。1時間の使用で10～15分程度の目の休養が適切です。

はじめてのタブレットを持ち帰る夏休みです。「何のためにタブレットを使うのか。」「使うときには、どのようなことに気を付けるのか。」、配付しているルールブック等を確認してください。子どもたちが、学習道具としてタブレットを大いに活用できるよう、ご家庭でも見守りをお願いします。

《校長室散歩道 R4 版 No. 7》

「継続は力なり」、「千里の道も一歩より」、「雨だれ石を穿つ」、「塵も積もれば山となる」、「蟻の思いも天に届く」などなど、昔から「続けることの偉大さ」「続けることの意味」を人々は体感的に学んできました。

しかし、続けることほど難しいことはありません。

ちょっとした努力とちょっとしたさぼりは、その時では大きな差にはなりませんが、こんな計算をしてみると、その差を理解することができます。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. $0.1^{365} = 37.8$ | こつこつ努力すれば、やがて大きな力になります。 |
| 0. $99^{365} = 0.03$ | 逆に少しずつさぼれば、やがてなくなってしまいます。 |

「365」は、毎日のことを意味しています。毎日のちょっとした努力とちょっとしたさぼりが、一年後には大きな差として自分自身に戻ってくるのです。

夏休み、家庭の仕事や学習など、どのようなことでもよいので、「続けることの難しさ」と「続けることができた」という自信を実感できる子どもたちであって欲しいと願っています。